

グローバル企業としての発展に向けて

Toward Further Development in Global Corporate Activities

常務取締役
生産本部長
坂本 廣

Hiroshi
Sakamoto



平素は『塗料の研究』をご愛読いただき、誠にありがとうございます。小誌は弊社における新技術、新製品をご紹介するとともに、お客様とのコミュニケーションの一助となることを願って発行しております。皆様からの貴重なご意見ご要望をお待ちしております。

弊社は平成22年度より第13次中期経営計画を発進し、向こう3年間を関西ペイントグループのグローバル競争力強化による世界戦略の基礎固めと国内事業の収益性強化のステージと位置付けました。

現在まで海外においては中国、ASEAN、インドを中心に欧米を含めて約30の拠点で事業活動を展開してまいりました。これまで海外における製品品質グレードは日系ユーザー様からのご要求もあり日本国内品と同一を大前提としてまいりましたが、自動車メーカー様をはじめとする各ユーザー様から「地域最適品質」への方向転換の動きが始まり、塗料へのご要求も同様となると予想しております。弊社の品質設計も世界同一から地域最適グレードへと転換していくこととなりますが、そのためには現地の技術部門の強化が必須であり人的強化と同時に施設強化も必要となり、それが開発のスピードアップとご要求へのフレキシブル対応に繋がる事と思っております。

海外でのコスト競争力強化の方策は原料の現地調達比率と現地生産比率の拡大であります。調達本部は本年度からグローバル調達本部と名称を変え、原料および機材の調

達市場を更に拡大させ「地域最適良品」を追い求めていきます。生産においても現地生産を積極的に推進し、中国・ASEAN・インドでの生産能力の更なる拡大で現地生産比率を上げると同時に、中東・アフリカ地域への本格進出の足固めも考えております。そして現地グレードの製品についても国内品と同様に設計品質を忠実に再現すべく製造管理を国内レベルにキープすることは言うまでもないことです。

はなしを研究・開発に戻しますが、塗料および樹脂の生産方式の研究は生産技術研究部と各事業所の製造技術グループで行っております。現在、独自に開発した革新的顔料分散機を使用し、新たな性能を付与した製品を関係研究部門と共同で開発中であります。また、樹脂製造においても省エネ・地球環境保全・省コストに繋がる合成方法の研究などを進めており、これらの技術がグローバル展開に有効なツールとなり、お客様に喜んでいただける結果となることを期待しております。

国内経済は一昨年のリーマンショックの影響から回復の兆しはあるもののまだまだ予断の許さない状況です。生産量が伸びないなか、海外に通用する人材の育成と海外への積極的な人的資源の投入によって海外拠点をサポートしていく所存です。

小誌ご愛読の皆様には今後とも、より一層のご支援ご鞭撻をお願い申し上げます。